

所沢市民文学講座（全4回）

「池波正太郎を読む」～その作品世界の魅力～

池波正太郎の作品といえば、江戸情緒の数々を盛り込んで読者を魅了し、時代小説の読者層の拡張に大きく貢献した『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の三大シリーズがまず想起されます。今も読み継がれている人気シリーズですが、池波作品はこれだけではありません。信州の真田家に題材を取った真田ものはじめ、戦国武将もの、剣豪もの、忍者もの、幕末維新もの、現代ものなど幅広いジャンルに及んでいます。東京・浅草に生まれ育った池波正太郎の人生の軌跡をたどり、小説とエッセイの魅力を検証していきます。

●日程と各回のテーマ及び参考作品

- 第1回：9月14日（金）三大シリーズの魅力『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』
第2回：10月12日（金）真田ものの魅力『錯乱』『真田騒動—恩田木工』『真田太平記』など
第3回：12月14日（金）戦国・幕末ものの魅力『戦国幻想曲』『忍者丹波大介』『近藤勇白書』『人斬り半次郎』など
第4回：2月8日（金）現代もの・エッセイの魅力『原っぱ』『青春忘れもの』『池波正太郎自選随筆集』など

参考作品を列挙してありますが、必ずしも事前に読んでおこななくても結構です。

11月及び1月は、池波正太郎記念文庫の見学や池波作品ゆかりの地散策なども計画中です。

- 時間： 毎回午後2時から4時まで（受付：午後1時30分より）
●会場： 所沢まちづくりセンター中央公民館 学習室8・9号
（所沢市元町27番地5号 TEL：04-2926-9355）
●講師： 文芸評論家 清原 康正先生



文芸評論家、日本ペンクラブ常務理事、日本文藝家協会会員（編纂委員）、県立神奈川近代文学館専務理事、日中文化交流協会会員
朝日カルチャー・東急セミナーの小説教室や調布市民カルチャーの歴史と文学講座、各地での歴史講座や小説・エッセイ教室などの講師を務める。
主著に『中山義秀の生涯』『山本周五郎のことは』『歴史小説の人生ノート』『小説を書きたい人の本』など
共著に『昭和文学の風景』『まげもののぞき眼鏡—大衆文学の世界』など
編解説に『作家の自伝 池波正太郎』『歴史小説名作館・全12巻』など

- 参加費： 2,500円（4回分）第1回目に集めさせていただきます。
●定員： 60名（申込み多数の場合は抽選）
●申込み方法： 往復はがき（1人1枚）に、氏名、郵便番号、住所、電話番号をご記入のうえ、
7月31日まで 下記宛にお申込み下さい。（原則4回とも参加可能な方）
〒359-1162 所沢市和ヶ原2-200-24 佐藤 八郎
●お問い合わせ： 佐藤 八郎（サークル「漆の実」代表）TEL：04-2948-8247
●主催： サークル「漆の実」（昭和の小説及び作家を通じて文学に親しむサークル）

池波 正太郎（1923-1990）

東京・浅草生まれ、下谷・西町小学校を卒業後、茅場町の株式仲買店に勤める。戦後、東京都の職員となり、下谷区役所に勤務
長谷川伸の門下に入り、新国劇の脚本演出を担当
1960年『錯乱』で直木賞受賞、1986年紫綬褒章受章
急性白血病により67歳で永眠。没後、勲三等瑞宝章受章
台東区立中央図書館内に「池波正太郎記念文庫」、長野県上田市に「池波正太郎真田太平記館」がある

